

Slogan

“みんなで作ろう!”  
**おもしろい**

Vision  
**1**

未来への扉を開く授業、  
社会に革新を与える研究を  
みんなで作らねば

Vision  
**2**

超スマート社会「Society 5.0」  
に対応した人材を育成し、  
グローバル化する社会の  
持続的発展に寄与する

Vision  
**3**

「地(知)を楽しみ、  
知(地)を活かす」拠点として  
地域産業の発展と、  
ウェルビーイングの  
向上に貢献する



富山大学長 齋藤 滋

## Action Plan ビジョンを具体化する戦略

### 教育

- 高度デジタルエキスパート人材の育成
  - ・全学的にデジタル技術やデータ解析など専門知識を教育するカリキュラムを充実させ、学部・大学院教育に活用
  - ・企業との連携により実務家教員を雇用し、実践的な授業やプロジェクトを提供することにより、地方トップクラス人材を育成
- 学生のやる気・ワクワク感を後押しする教育・学生支援の推進
  - ・自発的に問題発見から分析、問題解決までを導く力を養成
  - ・学生の個性を伸ばす教育への変換
  - ・学生の意見を反映し講義の質を向上
  - ・ウェルビーイングの実現に繋がる教育を推進
- グローバル人材の育成
  - ・英語教育を充実させるため、能力別のクラス分けを継続し、定期的な英語外部試験等の取組を実施
  - ・英語で学修できる授業プログラムを拡充し、海外の大学と本学の学生の交換留学を推進
  - ・日本人学生と留学生の交流を促進
  - ・グローバル化する社会を持続的に発展させていく創り手を育成
- 大学院教育の充実
  - ・文理融合教育、学部横断型教育を推進
  - ・基礎研究から社会実装を見据えた研究への進展
  - ・理系のみならず文系の修士入学者を増加
  - ・博士課程のキャリアパス整備を促進

### 研究

- 社会の課題解決・イノベーションに寄与する研究の推進
  - ・強みである重点研究分野（カーボンニュートラル・ヘルスケア・創薬・軽金属・データサイエンス・文化財保存等）の研究や技術開発を全学体制で行うことにより、研究成果の社会実装を促進
  - ・重点研究分野における共同研究・受託研究件数、競争的資金獲得件数、論文掲載数、論文被引用数についてそれぞれ目標値を設定した上での増加達成
- 社会実装を目指した東西医学融合研究の推進
  - ・学部、附属病院の融合による創薬に繋がる新たな疾病予防・治療戦略（次世代型医療科学）を創出
  - ・国内の関係大学と連携し、ASEAN 諸国を含んだ国際協力拠点を増加
- 世界トップレベルの研究拠点を形成
  - ・脳神経科学、未病、カーボンニュートラル、軽金属、和漢医薬学、実験・理論物理学、数理工学等の世界トップレベル研究を進展させ、その成果を世界へ発信
  - ・国際的に活躍する若手研究者を育成

### 社会貢献

- 産学官金連携による地域活性化を推進
  - ・先進アルミニウム国際研究センターを中心に様々な学問分野で地域の企業や自治体等との連携を強化し、地域経済の発展や地域課題の解決に貢献
  - ・産学官金連携を加速させ富山県の経済発展に寄与
  - ・大学発ベンチャーを促進
  - ・アントレプレナーシップを推進
- 地域への情報発信と定期的な対話
  - ・地域の企業、行政との連携を深め、その成果を発信
  - ・県民との対話の機会をつくり相互理解を深化
- リカレント教育等の質向上
  - ・修士課程において、社会人が就学しやすい学修方法や履修制度を整え、入学者を増加
  - ・社会人向け講座において、地域特有の課題やニーズに対応できるよう課題解決力や新たな価値を提案できる共創力を身に付けられる実践型リカレント教育を実施
- 地域住民の健康を守るための医療連携と高度医療の強化
  - ・地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療と質の高い医療を提供することで、地域医療に貢献
  - ・地域医療を守るため、医師等の医療従事者の派遣を実施

### 大学運営

- 学長ガバナンスの強靱化に向けた体制整備
  - ・学長ガバナンスの強靱化を図るため、外部有識者登用を進め、大学の経営改善を推進
  - ・教職員の法人経営能力を向上するための研修体制を整備
  - ・執行部の考えを教職員に伝え議論する場を提供
  - ・全学部が参加でき、大学運営について意見交換を行うFDを実施
- エビデンスベースの法人経営
  - ・大学IR組織が、教育・研究・社会貢献等の各領域と連携して客観的なデータ分析を実施し、その結果を教育の充実、研究の推進、社会貢献の促進に活用
- 財源の多元化・安定的な財務基盤の確立
  - ・積極的な外部資金獲得と資産活用、効率的な資金運用により収入額を増加
  - ・学部横断的に研究に取り組み大型研究資金を獲得
  - ・産学連携を図り、企業との共同研究を推進
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進
  - ・大学での消費電力削減
  - ・学生を巻き込んだカーボンニュートラルを実践
  - ・基礎研究を基に社会実装に繋げるセンターを設置